

2 目標達成計画

作成日: 平成 22年 12月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	不穏状態等で、車イスから立ち上がる行為が見られ、安全確認に努める必要がある。	できるだけ、拘束帯を使用せず見守りの強化に努める。	自動ドアの施錠については数字のタッチキーは使わず、ドア上部のタッチキーを使用し、常に入居者数の目配り、見守りに努める。拘束帯については現在使用していない。	1か月
2				目配り、見守りの強化に努めている。ただ今後、やむを得ない場合も考えられる為、また、安全確保の為、家族の同意を得て文章により取り交わし記録の整備に努め取り組んでいく。	か月
3					か月
4	40	昼食は、職員の見守りだけで入居者様と一緒に食事がとれていない。	朝食、夕食だけでなく、昼食を入居者様と職員と一緒に食事を摂りできるだけ家庭的な雰囲気を作りだす。	1Uについては、朝食は夜勤明者、昼食は遅番、夕食は夜勤者が摂り、2Uについては、朝食は早番がお茶まで対応し、昼食は宿直者、夕食も宿直者が一緒に摂るようにする。	1か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。